

会 議 録 (1)

会議の名称	平成30年度第3回飯能市社会教育委員会議
開催日時	平成30年12月18日(火) 開会 午後1時30分 閉会 午後3時
開催場所	飯能市役所本庁舎別館 会議室2
議長氏名	社会教育委員代表 内沼利泰
出席委員	内沼利泰 本橋萬智子 青柳義久 大河原英樹 町田邦弘 大野康 中嶋文代 藤本重成 西村敦子 平野和弘
欠席委員	井上淳治 攝田伸彦 金澤千恵子 山川安代 久下文男
説明者の職氏名	社会教育委員代表 内沼利泰 生涯学習主幹 塩野智巳
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙資料
配付資料	1. 会議次第
事務局職員職氏名	生涯学習課 課長 大野美智子 同 主幹 塩野智巳

会議録(2)

議事録の概要(経過)・決定事項
1 議事
(1)「飯能を知ろう」について
・郷土を知るためにかるたを作ろうということは、子どもたちの将来を見据えた時に大きな意義があるという意見が出された。
・かるたを作って終わりではなく、これを使った遊びや大会を通じて市のことを知るということに繋がれば良いという意見が出された。
・かるたづくりについて教育委員にプレゼンテーションしたらどうかという意見が出された。
・かるたを作るための方法を、社会教育委員が学校へ提示することに留めるということも一つの方法ではないかという意見が出された。
・飯能を知るためには、子どもたちは今ある郷土かるたは活用すべき、という意見が出された。
(2) その他
報告事項
・入間地区生涯学習フォーラムの開催について (H31. 2・22 日高市)
・関東甲信越静ブロック社会教育研究大会埼玉県大会について (H31. 11. 7~8 川越市)
・平成30年度市民活動支援事業 シニアサポートセミナーの開催について (講師：大野委員 H31. 1. 15 飯能市)
・次回会議 代表と事務局で相談し決定する。H31年2月頃

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	開始：午後1時30分
事務局	ただ今から、平成30年度第3回社会教育委員会議を開会いたします。はじめに、内沼代表のごあいさつをお願いします。
代 表	(代表あいさつ) 社会教育委員会議が文化新聞に載りました。1回目はアンケートの内容が中心で、市民に関心を高めてもらえるような記事でしたが、2回目は郷土かるたを新たに作るような印象を与える記事でした。今ある郷土かるたを大事にした方が良くはないかという意見も聞いています。今日の会議はこれらを踏まえて忌憚のない意見を出してもらいたいと思います。
事務局	次に、大野生涯学習課長よりごあいさつ申し上げます。 (課長あいさつ)
事務局	それでは、3の議事に入ります。代表に議長をお願いいたします。
議 長	前回のおさらいとして、3月の生涯学習フェスティバルで飯能市のことをどのくらい知っているかというアンケートを行った調査内容が8月17日付の文化新聞に載りました。アンケート結果では、50代の人たちの多くが知っている場所が、10代、20代特に子どもたちは知らない場所が多いということが鮮明になりました。この結果を元にもっと飯能を知ってもらおうということで色々な意見が出されて、その中で郷土かるたがテーマにあがりました。現在は平成26年に商工会議所の女性部会が作成した郷土かるたがあります。よくできているかるたで、札の裏には場所の説明分が書かれています。が、あまり知られていないので、新たに小学生によるかるたを作ったかどうかという意見が出されました。それが8月24日付けの文化新聞の記事になりました。これが前回までの会議の内容です。記事になったので関心を持たれたとは思いますが、方向性が作るということで決まっているように受け取られたとも思われます。これらをふまえて皆様の意見を聞きたいと思います。
委 員	現在ある郷土かるたの活用も大事だと思いますが、文章が子どもたちには難しいということで、子どもたちが作るという意見が出たと思いますが、子どもたちが作るには学校の協力がかなり必要だと思います。
議 長	社会教育委員は提言を行ったり、教育委員会からの諮問に対して答申を行うことが基本になっているので、方向性を示すことが大事なことです。前回の会議では具体的な方向での発言が出たので、それについても改めて考える必要があると思いますが、自由な意見をお願いします。
委 員	小学生が郷土を愛せるツールのひとつとしてかるたを作るという主旨は良いことだと思います。具体的な方法は思い浮かびませんが、方向性は良い

	ことだと思います。
委員	子どもたちの知らないところがあれば、遠足や家族等が出かけた時などに知らない場所を教えることで飯能のことを知ることができるのではないかと思います。そうしていく中で、かるたを作ることによって飯能を知るという気持ちも広がるのではないかと思います。
委員	先日社会教育委員の関東甲信越静研究大会の長野県大会に行ってきました。その基調講演で、ある地域で子どもたちがかるたを作ったという話がありました。地域全部の小学校にかるたの文章を募集したところ多くの文章が集まったようで、更に小学校に絵も募集して、子どもたちのかるたを作ったということでした。安い値段で作れたようで、子どもたち皆で作ったかるたを使って遊んでいるということでした。この話を聞くと、それほど簡単ではないとは思いますが、こちらでも作れるかなと感じました。子どもたちが文章を作ることや絵を描く段階でかるたに興味を持ってもらって、かるたで遊ぶことが受け継がれていければいいものになるのではないかと感じました。
委員	小中学生がかるたを作るのはどうかという意見をゼミの学生に意見を聞いてみました。飯能市出身の学生が一人もいないので、飯能のことを学生も知らないということでした。強制的に作らせても子どもたちは喜ばないので今あるものを引き継いだ方が良くという意見でした。茨城出身の学生からは、自分の経験から地元でかるたで大会の企画をしたらどうかという意見が出されました。かるた大会があることで地元に興味を持つようになったということでした。来年はプランニングコンテストに出したいと考えています。
議長	ゼミの学生からは活発に意見が出ましたか。
委員	意見を出したのは2～3人でした。
委員	課題が飯能を知ろうということなので、作って終わりということではなく、大会とか遊びの中で市のことを知る道筋が良いのではないかと思います。今家庭でかるたを行う機会は少なく、学校教育でかるたを行う時間を作るのも難しいのが現状ですので、生涯学習の分野から学校教育の中に取り入れるシステムをどうやって作るかということが課題だと思います。
委員	郷土を知るためにかるたを作ろうということは子どもたちのためには可能性を感じます。周りの人たちには、飯能で育っても将来は都会の方に出て行ってしまうという心配があるのだと思います。地元にとどまって地域の発展につくしてもらいたいということを望んでいると思います。そのためには小さい時から地元を好きになってもらうことが大切です。こういう取り組みは将来を見据えた時に大きな意義があると思いますが、学校教育の中で行うのはハードルが高いとも感じられます。小学4年生では郷土の学習を1年間行うので、その中に取り入れられれば良いのではないかと思います。かるたを作ってしまうとその年以降は使うだけになってしまうので、1年で全てを作るのではなく、毎年4年生がみんなでも相談して作るとか工夫できるようにするのが良いと思います。今の教育の方法として「主体的対話的深い学び」

	<p>が言われています。皆で意見を出し合って、更にもう一度考えてみるということをお大切にしようとする方向です。</p> <p>実際に行っただけでなく調べることが大切で、そうしていく中で子どもの中に郷土愛も深まり、考える力がつくという点で学校教育とも連携してできれば良いことだと思います。</p>
委員	<p>中学生をイメージしてみても、地元を知っているかということ知らないことが多いと感じます。地元を知ることや中学校的授業に取り入れるのは難しいと思います。郷土かるたを作ることも授業の中で協力するのは難しく、美術の部活動でもポスター作成等で年間の予定が埋まっています。</p>
委員	<p>大人が作ったかるたを覚える大切さはあると思いますが、同じくらい自分で作った大切さもあるのではないかと思います。学校にたった一つだけのかるたでも良いと思います。</p> <p>競技かるたとは離れて、かるたの芽を作るというか、小学4年生の郷土を知る学習で、かるたを少しずつ毎年作っていくというのも面白いのではないかと思います。</p> <p>テーマを決めて、郷土を調べる学習の中で3か所だけ選んで作ってみようということをお蓄積させるというのも一つの方法かなと思います。</p> <p>かるたになじみができる芽を作るのが大切かなと思います。仕事柄診療の待合室に子ども向けのかかるたを置いてあります。ある自閉症の子どもがそのかるたを使うことで、あいうえおの逆から並べる特技があることがわかったということがありました。日本の伝統文化としてかるたにふれるのは大切なことで、ある時少しずつ作ったかるたが溜まって50音揃ったらお披露目するというのも良いのではないかと思います。</p>
議長	<p>前回までの会議を踏まえて皆さんに意見を出していただきましたが、かるたを題材として飯能を知ろうという方向は良いでしょうか。何年前には社会教育委員がプレゼンテーションを行いました。協議したものを教育委員会にプレゼンテーションするのが良いのでしょうか。</p>
課長	<p>過去の資料を見ると教育委員に対してプレゼンテーションしていたようです。</p>
議長	<p>ただ話をしただけでは何の進歩もないので、プレゼンテーションを行いますか。</p>
委員	<p>社会教育委員が政策実現の筋道を明確にしないと協議しただけになるでしょうし、それをどこが引き受けてくれるのかということもあります。今二つ方向性があるって、学校現場でなく、子ども会等で作ってもらうという方法と今あるかるたになじんでもらうための方法を考えるということがありますが、両方とも学校がからまない難しいことだと思います。そういう意味では教育委員にプレゼンテーションして市議会の厚生文教委員会で議論してもらわないと実現できないのではないかと思います。</p>

委員	<p>学校でかるたを使うということはここでは決められません。作ったものを教育委員会の方針として校長に使い方の指示があるか、またはできたら使って下さいというこの2パターンかと思います。どのようにどのような場面で使うかも含めて教育委員会からの指示があつて学校が使うという順序になるかだと思います。教育課程ということになりますので、大きなことだと思います。</p>
議長	<p>まずは飯能を知ろうというテーマがあります。子どもたちに飯能を知ってもらうために、どのように郷土かるたを生かして飯能を知るということを子どもたちに普及させるかということで話しを進めていきます。今までの意見でなにか気付いた点等ありますか。</p>
委員	<p>現在はあまり子ども会活動は活発ではありません。学校は教育委員会の方針に基づいて動いているので、最終的に社会教育委員の提言を教育委員会で取り入れてもらうことを目指せばよいのではないかと思います。最初から高いハードルは難しいので、複数年計画で、今あるものを活用して飯能を知ってもらう、次のステップとして自分たちで作るということに進むということでも良いかと思います。このことの有用性を教育委員会や議会に認識してもらうことが大切かと思います。</p>
議長	<p>学校に頼らないで作るとするのは難しいと思いますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>茨城県の事例が気になっていますが、先行事例はどこが主体で行っているか、学校が主体ではないとするとすごいことだと思いますので、そういうところを研究しないことには見当がつかないのではないかと思います。NPO法人が子どもたちを集めて行っているところもあるとは思いますが。</p> <p>飯能市のように児童館が地域毎に無いようなところはどうか研究する必要があると思います。</p>
委員	<p>かるたを作るとなったら、学校の授業以外で、生涯学習課が小学生に絵と文章を募集するという方法はあると思います。学校の授業で使うとなると学校としては縛りが出てくるということです。</p>
委員	<p>少年の主張大会のような方法で募集はできませんか。</p>
議長	<p>学校によって違うとは思いますが、少年の主張大会については、夏休みの課題になっていて、その中から選考されていることが多いようです。</p>
委員	<p>少年の主張大会の募集と同じようにして、全ての小中学校に希望者だけでもよいので、夏休みの宿題として文章や絵を募集して、それを選考すればかるたが出来るのではないかという気がします。優秀な人への表彰を行ったりすれば、作品も集まるのではないのでしょうか。</p>
議長	<p>募集して作るという方法もあるでしょうし、何人かのグループで作るか、なかなかそういう場を作ることは難しいでしょうが、今あるものを使うというより作る方が大事ではないのでしょうか。</p>

委員	社会教育委員会が、かるたを作るとしたら郷土の授業の中のこの部分にこういう活用する方法があるということを学校へ提示することにとどめるということもひとつの方法かなと思います。
議長	郷土かるたはの中身は地域ごとにまとまっていますので、これを基にしてこういうものを作るにはどうしたら良いだろうかということをしつづつ行うのも面白いかなと思います。
委員	郷土の授業の中で見てきたことを写真などで発表しますが、その中から3枚くらいでも良いので、かるたを作ってみましたということから始めるのも一つの方法かなと思います。
議長	かるたを完成させるということではないので、そういう方法なら毎年できるかなと思います。
委員	社会教育委員は実動するわけではないので、子どもの教育が社会の教育につながるということを示すことがこの会の役割だと理解しています。地域の方の話の聞くということでもかるた作りのヒントを出してくれる人もいるかも知れません。
委員	子どもの頃は、一度しか体験してないことでも、印象に残ったものは大人になっても心に残っているものなので、子どもたちが一度でも関われる機会があれば効果があることだと思います。 今あるかるたは、札の頭の文字がその場所を表す文字になっていないということで使いにくくなっていると思います。
委員	そのことは学生も同じことを言っていました。
委員	以前この会議で、子どもたちに飯能検定をということで話し合ったことがあり、その時に色々な問題が出されました。
議長	飯能を知ろうも、ジュニア飯能検定から引き継いだものです。
委員	ジュニア検定の問題も光が当たるようになれば良いかなと思います。
議長	コミュニティカフェと一緒にジュニア検定についてもプレゼンテーションしたのは5年前くらいでしょうか評価も特に聞いていません。その場で教育委員に感想を述べてもらい、それで自己満足的に終わってしまいました。
委員	別のかたちで飯能検定が受け継がれたと考えれば、その効果もあったと思います。
議長	授業の中にかるたづくりを入れるのは教育委員会からの指示が必要になります。

課 長	教育委員会の方針となれば良いですが、もう一つの方法として校長会で社会教育委員の方にプレゼンテーションしていただいて、この試みに賛同が得られれば学校に協力してもらえるとということもあるかと思えます
委 員	全ての学校に取り組んでもらえるかはわかりません。全く無いかも知れません。校長が飯能を知ってもらうために良いことだと思えば進めてもらえるかも知れません。
委 員	そうするには説得力のある内容が必要ですね。
委 員	かるたの作り方があってはならないでしょうか。郷土のことをかるたにしてみようとか、好きな文字で作るとか、具体的な進め方があると良いかと思えます。
委 員	先進地の情報を集めてみるのも良いかと思えます。
委 員	絵を募集すると、小1と小6では全く内容が違ってくるので、それをひとつのかるたにすることを想像するとどうしたら良いのかとってしまいます。
委 員	今あるかるたは小学生には文が難しいということですか。
議 長	文が長いということとその場所の名称の頭文字から文が始まっていないということです。今日の意見と前回までの意見から方向性を探りたいと思えます。
委 員	群馬県の例では学校への指導があったのだと思えます。そうでなければ学校は自主的には行わないと思えます。
委 員	今では子どもたちにとってかるたは興味あるものではないと思えます。教室に置いてあっても使わないかも知れませんので、ある意味強制的なものがないとやらないと思えます。
議 長	子どもたちはかるた自体を今はあまりやらないので、逆に新しく感じるかも知れません。
委 員	小さい子どもは好きです。自分のお気に入りの札もあります。
議 長	群馬県は市町村レベルで作っています。群馬県はかるたの数は全国一で、埼玉県は2位です。
委 員	飯能を知ろうということで、既存のものを使うか、新規のものを作るかということですが、郷土学習の時間が社会科の授業の中にあると思えますが、中学校では具体的に授業の中で何時間やってくださいということがなければ、学校の教科に組み込むのは難しいと思えます。できたらやってくださいだとやらないと思えます。

委員	<p>双柳小では正月に子ども会で、県の郷土かるたを使って、学年別に大会を行っています。地区行政センターで行っています。市の郷土かるたは普及していません。</p>
委員	<p>かるたを切り口にして、子どもたちに郷土のことを知ってもらい、更に感性を育てることに大きな意味があると思います。県郷土かるたは競技かるたなので、今行おうとしている市の郷土かるたとは目指す方向が違う気がします。知らない場所に行ってみて、その題材を使ってかるたを作るというのも良いでしょうし、募集をかけると興味がある子どもだけになるし、基本的には一人で完結しまうので、何人かで考えながら作ることで、スキルを膨らませることが出来るのではないかと思います。</p> <p>郷土の学習に特化した外部指導員の方が入るとやりやすいのかなと思います。</p>
議長	<p>かるたを切り口に飯能市を知ってもらうアプローチの方法を考える必要がありますが、校長へのプレゼンテーションも一つの方法だと思います。そうすると中身を考える必要がありますが、それを今後の検討事項にしたいと思います。もう一つは、公募するような先進事例の資料があれば紹介してもらいたいと思います。</p>
委員	<p>大人が1枚かるたを作ってみたらどうでしょうか。身近なところで絵でも写真でも良いので作ってみてください。小中学校で短歌や俳句を作るのと同じように、身の回りのことが一つのかるたになるというようなことは子どもにも達成感があるし、他の人にも影響します。俳句づくりと同じ様に地域の大人たちの中でもかるた作りが流行れば、社教委員の1枚からかるたづくりが始まったということになって、面白いことだと思います。</p>
議長	<p>自分で作ってみると見えてくる課題があるかも知れません。</p>
委員	<p>飯能を知ろうということでは今のかるたは活用すべきだと思います。子どもたちには文章が難しいということはわかりますが、難しい表現は大人がかみくだいてやれば、こういうところがある、こういう歴史があるという基礎的な知識が入ってきます。それを子どもたちがどうふくらませていくかということだと思います。子どもたちが現地へ行ってみるとか、更に調べてみるとか、色々行った中で、オリジナルのかるたを作るということに持っていければとても良いことだと思います。</p>
議長	<p>かるたを切り口にして次回会議までに子どもたちに飯能を知ってもらうとういうことをテーマにそのアプローチの方法を考えてきてもらいたいと思います。</p>
委員	<p>□□委員の意見だったかと思いますが、学校に負担をかけない形で、地域で子どもたちが参加してのかるたづくりを行うという意見があったかと思いますが、学校の範囲だけで考えるということではないということを確認したいと思います。</p>

議 長	そのとおりです。学校限定というわけではなく、広い範囲で考えるということです。
事務局	次回の会議はいつ頃にしますか、議会の期間は避けたいと思います。代表と検討させていただきます。
議 長	その他の事項をお願いします。 (2) 報告事項をお願いします。
事務局	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入間地区社会教育協議会社会教育委員部会について ・ 平成31年度関東甲信越静社会教育研究大会について (埼玉県) <p>終了：午後3時</p>
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">議 長 の 署 名 _____</p>	